

*** 堂平観測所の池谷・関彗星の乾板のレプリカを収蔵**

図書室からアーカイブ室の筆者に渡されたものの中に FUJI PROCESS FILM の箱があり、その中に堂平観測所の 50cm シュミット望遠鏡で撮影された池谷・関彗星の乾板をシートフィルムに転写したポジフィルム 16 枚が入っているものがあつた。この 16 枚の天体写真をデジタルデータとして収蔵した。スキャナーの都合で写野全体は取り込めていないがほぼ全体とわいていい。その天体写真の一覧が写真 1 である。

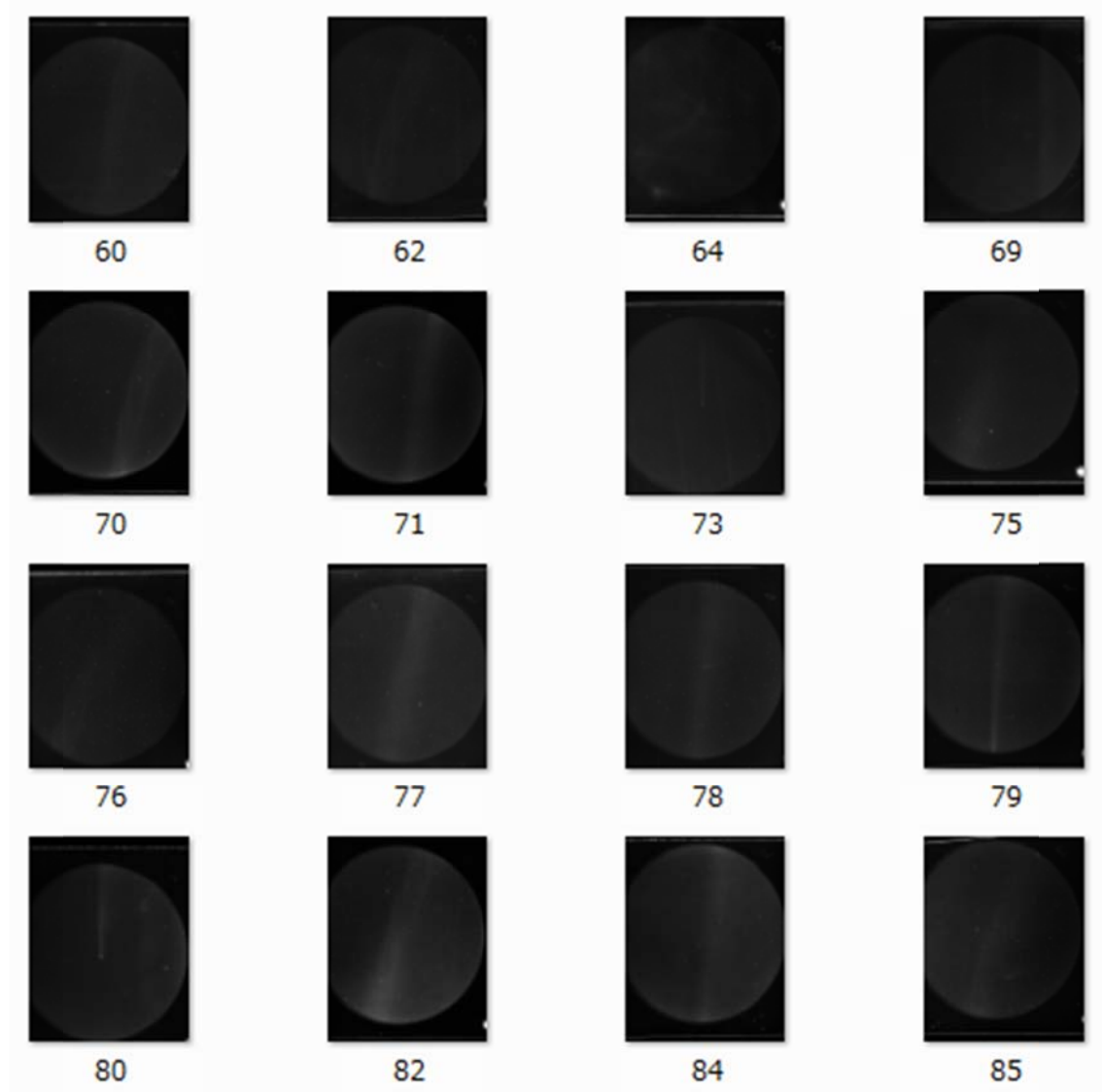


写真 1 取り込んだ 16 枚の 50cm シュミットカメラで撮影した池谷・関彗星
写真 1 ではまっ黒に見えるが、一応写っている。しかし筆者がまだ岡山天体物理観測所

にいた頃に見た池谷・関彗星（写真 2）の巨大さ、雄大さ、ものすごさが感じられない。明け方の東の空に細長い尾が 30 度もあったろうかという見事な彗星であった。

1965 年の出現の際、今世紀最大といわれ、興奮して見た記憶がある。この彗星は太陽近くを通過した際、乗鞍コロナ観測所のコロナグラフでも撮影された（写真 3）。視野の広いシュミット望遠鏡といえども全体像をとらえるのは無理だったので、何枚かに分けて撮影されている。



写真 2 岡山天体物理観測所 188cm 望遠鏡ドームと池谷・関彗星

池谷・関彗星はアマチュア天文家で彗星搜索に熱心であった池谷薫と関勉がそれぞれ 1965 年 9 月 18 日未明（日本時間）に発見した。符号は C/1965 S1 であった。当時使用されていた古い表記法では、仮符号が 1965f、確定符号は 1965 VIII である。同じ名前をついた彗星に C/1967 Y1 があるが、通常「池谷・関彗星」といった場合は C/1965 S1 を指すことが多い。

取り込んだフィルムシートの一覧表が表 1 である。天体写真原簿にはほとんど情報が記載されておらず、露出時間の始めと終わりの時刻、観測者名のみが記載され、天体名さえ書かれていなかった。表の表記は、No. : 乾板番号、Date : 観測年月日、B-Time : 露出開始時刻、E-Time : 露出終了時刻、Exposure : 露出時間、Emulsion : 乾板の種類、Object : 観測天体名、R. A. : 天体の赤経、DEC : 天体の赤緯、Observer : 観測者である。観測者はすべ

て富田弘一郎であった。まだ2ケタの番号であるから、50cm シュミット望遠鏡の初期に撮影されたものでデータとして記載する方法が確立される前のことだったようである。

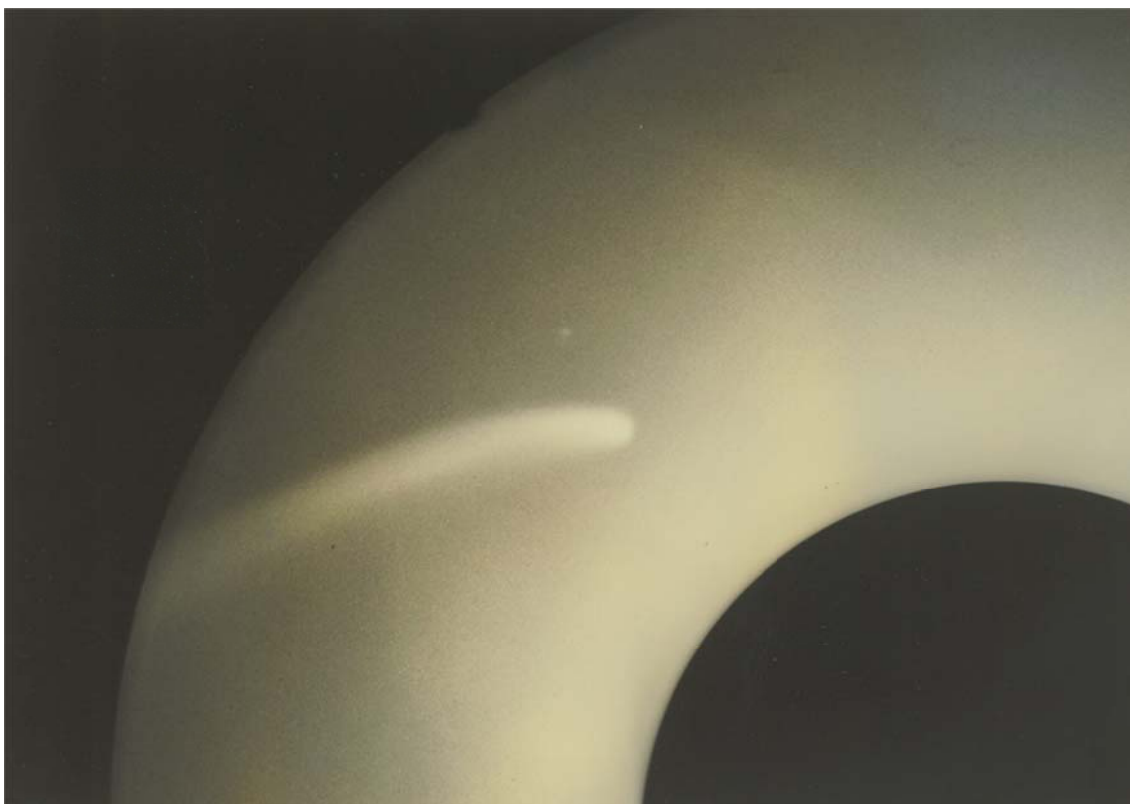


写真3 乗鞍コロナ観測所コロナグラフで撮影された太陽近傍通過時の池谷・関彗星

No.	Date	B-Time	E-Time	Exposure	Emulsion	focus	Object	R.A.	DEC	Obsrever
60	19651029	282200	282400	2min						富田
62	19651029	283300	283400	1min						富田
64	19651029	284604	284704	3min						富田
69	19651031	255330	255830	5min						富田
70	19651031	281900	282400	5min						富田
71	19651031	282800	283300	5min						富田
73	19651031	284335	284405	30sec						富田
75	19651102	282800	283000	2min						富田
76	19651102	283500	283630	1min30sec						富田
77	19651102	283810	283940	1min30sec						富田
78	19651102	284130	284300	2min30sec						富田
79	19651102	284442	284612	1min30sec						富田
80	19651102	284742	284912	1min30sec						富田
82	19651103	281951	282251	3min						富田
84	19651103	283312	283612	3min						富田
85	19651103	283810	284110	3min						富田

表1 池谷・関彗星のフィルムシートの一覧

今回、収蔵した写真を紹介するが、彗星の頭部と長い尾の部分が分けて撮影してある。写真4が頭部の写真である。



写真5 No. 80 池谷・関彗星頭部

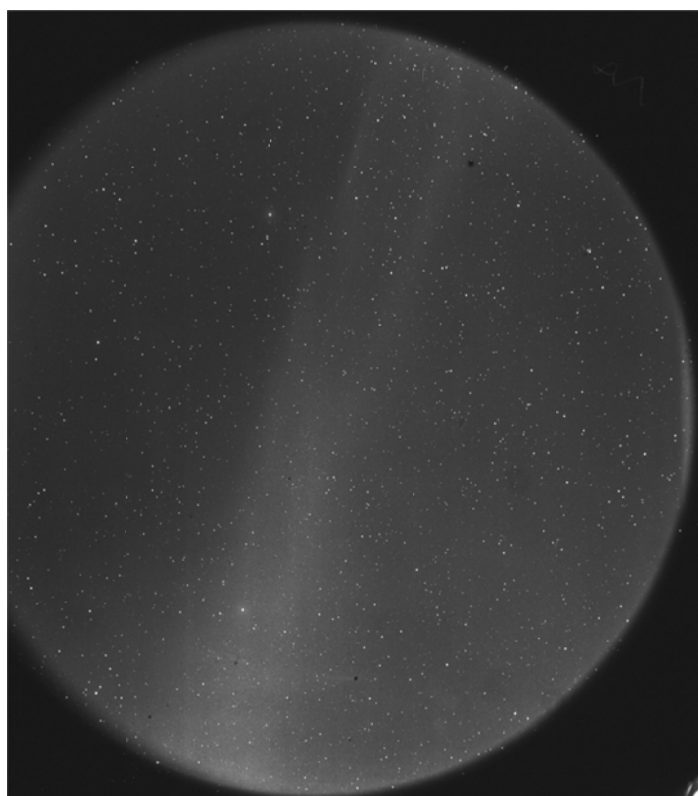


写真6 池谷・関彗星の尾部

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp